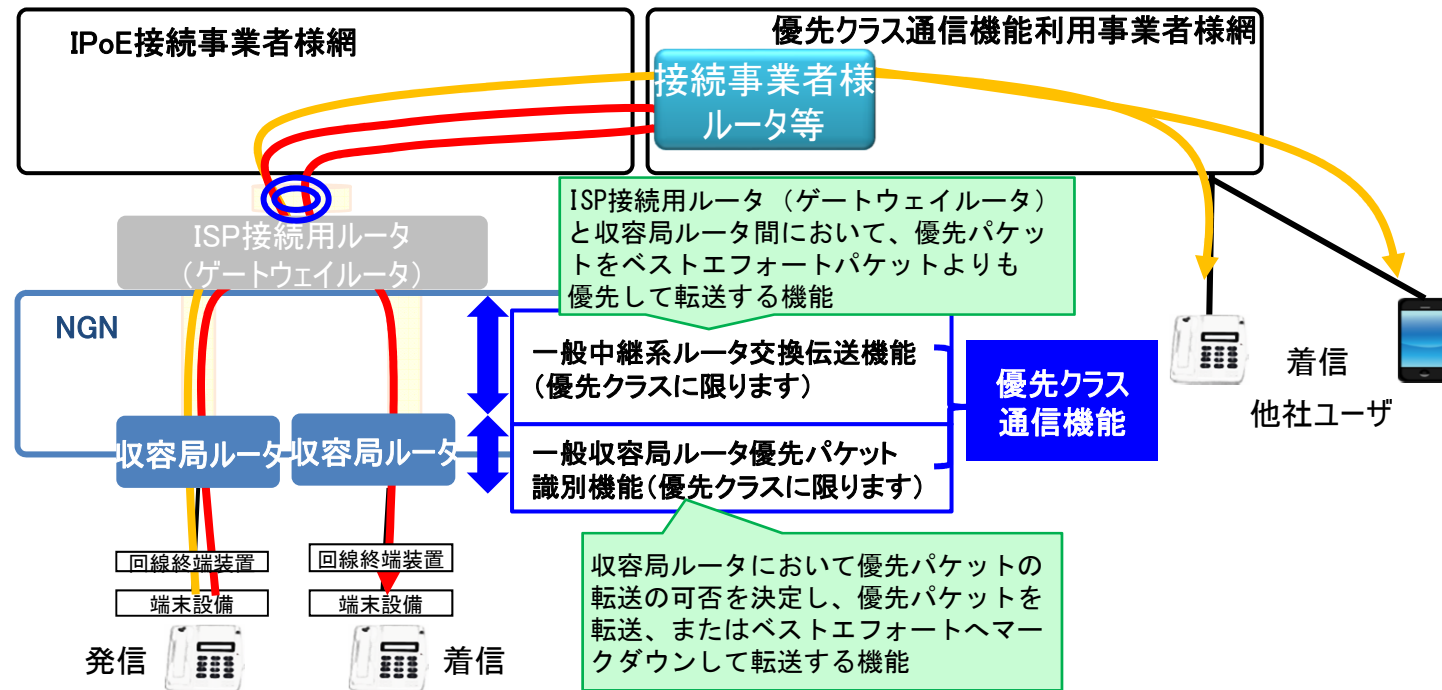


優先クラス通信機能の概要

優先クラス通信機能は、I P 通信網上において、I P 通信網の各ルータにおいて優先クラスの packets をベストエフォートの packets よりも優先して転送する機能です。

■ 優先パケット機能の仕組み（IP電話を提供する事業者様がIPoE接続事業者様を経由して優先クラスを利用して接続する場合の例）



優先クラス通信機能接続事業者様の0AB-J IP電話サービス等利用ユーザ
(フレッツ光または光コラボレーションモデル利用ユーザ)

優先クラス通信機能の利用条件①

- ・I P 通信網では有限なネットワークリソースの中で、品質が異なる複数の通信サービスを多数のユーザに提供するため、優先クラス通信機能との接続にあたっては、利用帯域に関する利用条件と設定パターン数に関する利用条件を設定しています。
- ・現在の利用実績や現時点で想定される需要（電話、低速専用線の代替等）を踏まえた、具体的な回線あたりの利用帯域に関する利用条件については、以下の通りです（平成30年6月15日現在）。

〔音声通信〕

区分	回線あたりの利用帯域	想定する利用用途
ファミリー／マンション	～4Mbps	・SOHO・マス向けIP電話サービス （G.711 μ -lawご利用で、32ch）
ビジネス	～12Mbps	・大企業向けIP電話サービス （G.711 μ -lawご利用で、100ch）

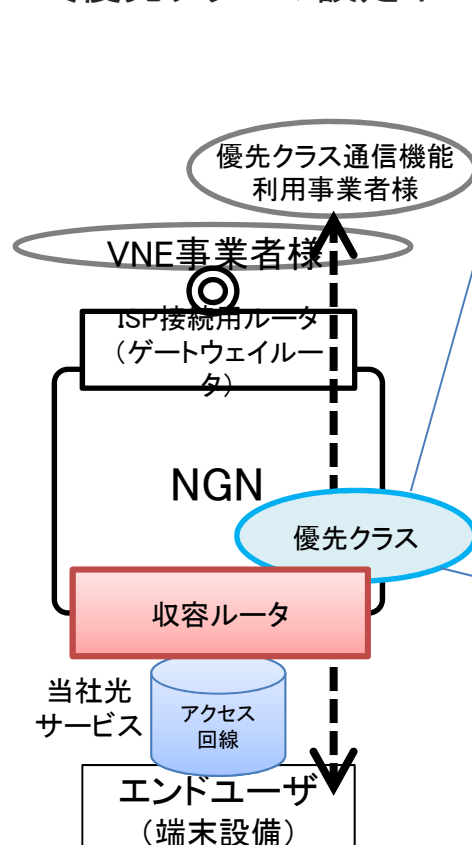
〔データ通信〕

区分	回線あたりの利用帯域	想定する利用用途
ファミリー／マンション	～1Mbps	・専用サービスの代替利用
ビジネス	～10Mbps	

優先クラス通信機能の利用条件②

収容局ルータへの優先クラスの設定可能パターン数については、現在26パターン（ファミリー／マンション向け：13パターン、ビジネス向け：13パターン）まで動作検証済であり、1度に申込み可能な設定パターン数に関する利用条件は以下の通りです（平成30年6月15日現在）。

〔優先クラスの設定イメージ〕



回線種別	ファミリー・マンション		
設定項目	優先クラス利用事業者	通信宛先アドレス	利用帯域
1	A社	設定(a)	○M
2	B社	設定(b)	△M
3	B社	設定(b)	□M
4	C社	設定(c)	◇M
5	D社	設定(d)	△M
6	—	—	—
⋮	⋮	⋮	⋮
12	—	—	—
13	—	—	—

回線種別	ビジネス		
設定項目	優先クラス利用事業者	通信宛先アドレス	利用帯域
1	A社	設定(a)	△M
2	B社	設定(b)	□M
3	C社	設定(c)	○M
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
⋮	⋮	⋮	⋮
12	—	—	—
13	—	—	—

1事業者が一度に申込みする上限

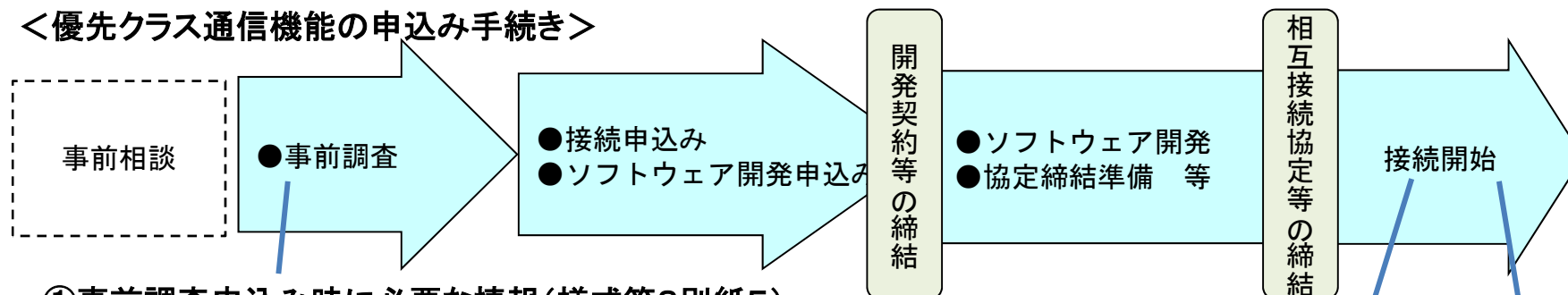
各回線種別ごとに2パターン※まで

※その申込み以前に接続申込みを行い、未だ優先パケット機能との接続を開始していない設定パターンがある場合は、その数を含んで2パターン

優先クラス通信機能の申込み

- ・優先クラス通信機能を新たに利用する場合や新たな設定パターンを申込みの場合は、事前調査申込みが必要です。
- ・利用条件①②の範囲を超える申込みがあった場合は、事前調査申込み受領後、その対応可否について検討させていただきます。
- ・優先クラス通信機能の利用にあたり、当社が情報の提供を求める範囲及び手続きについては、以下の通りです。

<優先クラス通信機能の申込み手続き>



①事前調査申込み時に必要な情報(様式第8別紙5)

※事前調査申込書(様式第8)と併せて提出をお願いします。

項目	提供いただく情報	
需要	・提供予定回線数、時期(サービス開始後3年間) ・利用種別(音声／データ)	
	音声利用の場合	・1契約あたりのチャンネル数 ・1チャンネルあたりの平均利用帯域 ・呼率(1チャンネルあたりの月間通話時間等)
設定内容	・IPv6アドレス／プレフィックス長(通信宛先アドレス) ・1回線あたりの優先クラスの利用帯域	

②回線ごとの申込時に必要な情報

※システムでのSO投入時に登録いただきます

- ・契約者ID(CAF番号)
- ・工事希望日時
- ・利用帯域
- ・契約者を特定する情報(アクセスキー、回線契約者氏名、回線契約者郵便番号、回線設置場所郵便番号、回線申込者電話番号のうちいずれか1つ以上)

③毎年提示いただく情報(様式第24-4)

※当社が定める期日までにご提示いただきます。

- ・見込み需要
(各月末の契約数と各月の送受信データ量)